

困りごと相談室

福岡県自立相談支援事務所
 まずは、お気軽にお電話ください。
 面談のご予約をお願いします。
 郡部にお住まいの方が対象です。

ご相談・お問い合わせ先

相談時間：月～土曜 9:30～17:30
 (土日・祭日も開いています。土曜日は電話相談のみ)
 相談支援員が外向く出張相談もあります。

糟屋郡

☎092-938-3001
 糟屋郡相産町若宮1-3-6 安河内ビル1F
 (JR長者原駅より徒歩4分)

遠賀郡・鞍手郡

☎093-203-1630
 遠賀郡水巻町南末北1-12-1F
 (JR水巻駅より徒歩3分)

朝倉郡・三井郡・三浦郡・八女郡

☎0942-38-8501
 久留米市東和町6-9 フジホーム久留米ビル501号
 (西鉄久留米駅東口より徒歩4分)

京都郡・築上郡

☎0930-26-7705
 行橋市宮市町2-8 ヘブリンビル1F
 (JR行橋駅東口より徒歩2分)

嘉穂郡・田川郡

☎0947-44-8631
 田川市大字伊田3294-13
 (福岡県田川保健福祉事務所斜め前、田川保健所別館1F)

福岡県の事業です。

安心して「相談」ください！！

相談支援員が
 あなたの事情やご希望をよくおきまして、
 問題解決に向け、
 一緒に考えお手伝いします。



「らし」の中で困っている
 ことありませんか？



何でも気軽に「ご相談」ください

くらしごと・家計 困りごと相談

郡部にお住まいの方ならなどたでも

ひとりで悩まないで
 一緒に解決していきましょう

相談は無料です

個人情報・秘密は守ります

資料5

福岡県自立相談支援事務所

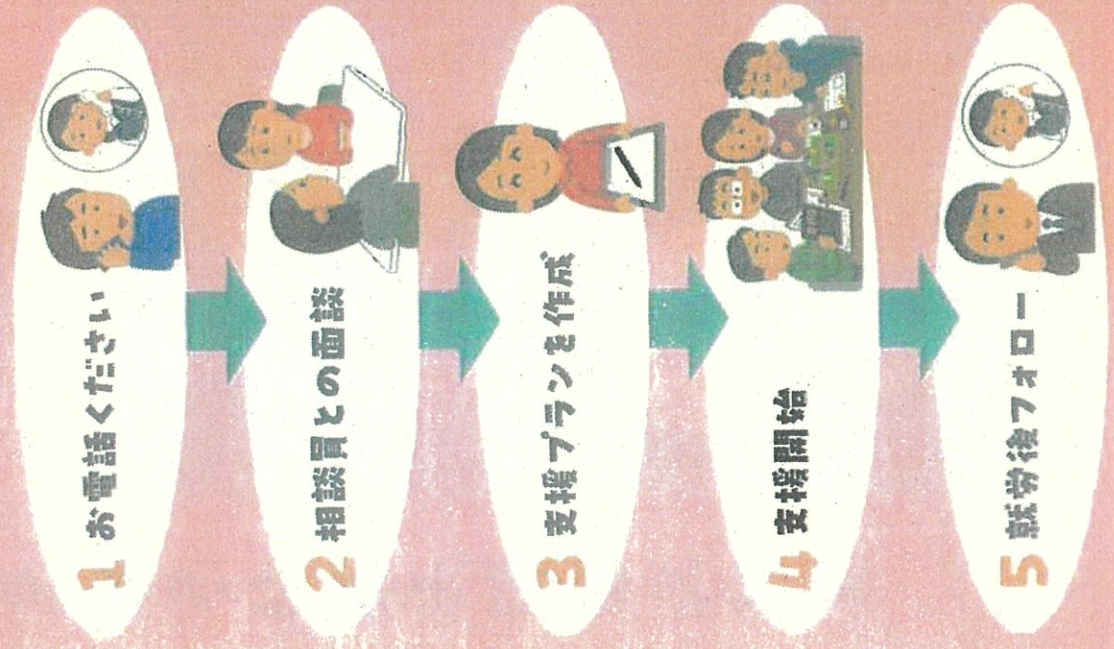
社会福祉法人 グリーンコープ

福岡県自立相談支援事業は、
 グリーンコープが運営し、実施しています。

就労準備支援事業とは

「働きたいけど自信がない」「コミュニケーションが苦手」「生活リズムが整わない」など、すぐに働くことが難しい方に、それぞれの状況に合わせて内容で不安を解消しながら就労に向けた支援を行います。

支援の流れ



困りごと相談室

福岡県自立相談支援事務所

まずは、お気軽にお電話ください。
ご本人はもちろん、ご家族からのご相談もお待ちしております。
下記の地域にお住まいの方が対象です。

相談時間 / 月～金曜日 9:30～17:30 (祝日可)

糟屋部の方
☎092-938-3001
〒831-2314 福岡県糟屋郡粕屋町1丁目3番6号 糟屋ビル1011
(JR糟屋郡粕屋駅から徒歩5分)

朝倉部・三井部・三潴部・八女部の方
☎0942-38-8501
〒830-0035 久留米市東和町16-9 アシホーム久米ビル501号
(西鉄久留米駅東口から徒歩4分)

遠賀部・鞍手部の方
☎093-203-1630
〒807-0022 遠賀郡鞍手町本町1丁目2-11
(JR水巻駅から徒歩3分)

京都部・築上部の方
☎0930-26-7705
〒824-0008 行橋市市町2-8 ヘブリービル1F
(JR行橋駅東口から徒歩2分)

嘉穂部・田川部の方
☎0947-44-8631
〒825-0303 田川市千早町13294番地13
(福岡県田川市嘉穂駅前バス停徒歩5分、田川市嘉穂駅前バス停徒歩5分)

福岡県就労準備支援事業は、
社会福祉法人グリーンコープが
受託して実施しています。



詳しくは
コチラ

働くことを一緒に考えていきましょーう!

個人情報
秘密は守ら
れます!

相談は
無料です



福岡県

就労準備支援事業

就労準備支援事業とは

「働く」ための準備 ～体力・気力・能力～

一人ひとりに合わせた段階的な支援

3つの自立の達成を目指す

就労準備支援事業の対象者像

- コミュニケーションや対人関係が不安
- 働いたことがない
- 長期離職後、就活ができない
- ひきこもっている
- 就職活動に不安がある、自信がない
- 発達障がい、知的障がいの疑いがある
等々

複合的な課題を抱えておられる方

○日常生活自立……芽生え(興味)

- ⇒ 定時開始による生活リズムの習慣づくり
- ⇒ 体力確認、体力づくり、フィールド作業、美化作業
- ⇒ 読み書き、家計管理など基礎的なワーク
- ⇒ 状況に応じてモーターリングゴール等での積極的な促し

○社会生活自立……はぐくみ(経験)

- ⇒ 対人コミュニケーションに関するワーク
- ⇒ 集団の中で協力し、協働ゲーム、パン作り等の実施
- ⇒ ボランティアなど社会との関わりを促進する活動

○就労(生活)自立……実り(希望)

- ⇒ 今後の自立を計画するワーク
- ⇒ 訓練、資格、就職に向けた支援機関の情報提供
- ⇒ 企業見学、就労体験
(清掃、農作業、軽作業、事務作業等)

<事例>

- ▶ 事例：40代男性
- ▶ 警備会社を退職後、約13年間定職に就いていない。
- ▶ 単発でのアルバイトは行ったことがあるが、継続できていない。
- ▶ 生活の大半が家事手伝い、ネット(オンラインチャット)に限られている。外に出て家族以外の人と触れ合う機会はほとんどない。
- ▶ 未就労の期間が長く、仕事に対する不安が強い。

<支援内容と結果>

- ▶ プログラムへの参加を促し、他人とのコミュニケーションを行う機会を増やす。
- ▶ プログラムの参加を継続することで、自然に対象者間での会話を行えるようになり、当事者に自信を持たすことができた。
- ▶ 複数の企業での就労体験を通じて少しずつ就労意欲が向上し、アルバイト雇用を希望し決定した。